

特別展覧会



Kyoto National Museum
120th Anniversary Commemorative
Special Exhibition

National Treasures:
Masterpieces of Japan



2017
10・3(火) - 11・26(日)
4期に分けて、国宝を一挙公開!
I期 10月3日(火) - 10月15日(日) II期 10月17日(火) - 10月29日(日)
III期 10月31日(火) - 11月12日(日) IV期 11月14日(火) - 11月26日(日)
※I・IV期は主な展示替です。一部の作品は、右記以外に展示を行います。

●開館時間：午前9時30分〜午後6時
(金土曜日は午後8時まで) ※入館は閉館の30分前まで ●休館日：月曜日 ※ただし10月9日(月・祝)は開館、10日(火)休館 ●主催：京都国立博物館、毎日新聞社、NHK京都放送局、NHKフラネット近畿 ●後援：文化庁、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会 ●特別協賛：島津製作所 ●協賛：京都美術工芸大学、GSユアサ、小学館、大和ハウス工業、東海旅客鉄道、西日本旅客鉄道、日本新薬、日本写真印刷 ●技術協力：キテラス、シーシーエス ●協力：日本香堂

kyoto-kokuhou2017.jp

すべてが国宝!
41年ぶり、
夢の
8週間!!

→
→
120TH
ANNIVERSARY
京都国立博物館 開館

周年記念



国宝 桜園壁貼付(部分) 長谷川久蔵筆 京都・智積院[10月24日~11月12日]



国宝 松林図屏風(左隻) 長谷川等伯筆 東京国立博物館[Ⅲ期]

仏画
これがわかれば美の免許皆伝
京都に舞い降りる、天平美人
天平美人そのままに、艶麗です。天衣の半透明感など西洋画的な感覚があります。大きく見えますが、縦53センチの小さな絵です。アップに堪える繊細な表現に注目です。



国宝 吉祥天像
奈良・薬師寺[Ⅰ期]
写真・萩島園

金工
日本金工の美質、
ここに集結!

武士の ダンディズムと美

平安時代後期、武将の着用として制作が盛んとなった鎧(大鎧)。勇壮で毅然とした威容、周到な素材の取り合わせは、日本甲冑独特の美を示しているといえるでしょう。

国宝 赤染殿鎧
岡山県
(岡山県立博物館保管)
[Ⅰ期]



ます。「縦簾紙」という特殊な紙を使っているのも見どころです。



国宝 四季山水図巻(山水長巻・部分) 雪舟筆 山口・毛利博物館[10月3日~22日] ※巻き替えあり



国宝 伝源頼朝像(部分) 京都・神護寺[ⅣⅠⅣ期]

肖像画
かつて彼らは生きていた

神護寺三像 23年ぶりの勢ぞろい!

超絶技巧ともいうべき美しく冴えわたる描線によって、堂々たる品格が編み出されている、日本肖像画の最高峰。展覧会で伝源頼朝像・伝平重盛像・伝藤原光能像三像が揃うのは23年ぶりです。

王朝美の代名詞

日本文学史上の傑作にして、いま世界中で読まれる光源氏の恋愛物語。この絵巻は、源氏物語を描いた現存最古の作品です。



国宝 源氏物語絵巻 柏木(三・部分) 愛知・徳川美術館[Ⅲ期]
©徳川美術館イメージ・コピー・DNP artcom

ぜんぶ国宝、純度100%!!

明治30年(1897)に産声をあげた京都国立博物館は、今年、開館120周年を迎えます。時を同じくして、文化財保護法の先駆けとなる「古社寺保存法」が制定され、その中で初めて「国宝」という言葉が誕生しました。京都国立博物館と国宝、ともに迎える120周年という節目の年に、関西では実に41年ぶりとなる「国宝」展を開催します。本展では、縄文から近世に至るまで、日本の悠久の歴史を伝える国宝のうち、200件以上が集結します。先人たちが育んできた、日本独自の美意識の結晶とも言える「国宝」。その一つ一つに、何百年、あるいは何千年という時を超えたドラマがあります。どうぞ会場で、あなただけの国宝物語を見つけてください。

近世絵画

絢爛豪華な大画面の世界、その迫力をこ体感あれ

等伯×久蔵夢の親子共演

豊臣秀吉が、愛児鶴松の菩提を弔うために建立したのが祥雲寺現在の智積院。その障壁画を手掛けたのが、長谷川等伯と息子の久蔵です。わずか26歳の若さで急逝した久蔵の描いた「桜図」や、その死後制作されたと考えられる等伯「松林図屏風」の対面は、傑作の共演というにとどまらず、親子の再会でもいえるものではないでしょうか。

考古

地中から語りかける日本のはじまり

火焔型土器ナンバーワン 16年ぶりの県外公開



見る者の心を揺さぶる縄文土器の最高峰。縄文時代中期、もっとも造形と文様が盛んな時代に製作された、日本最古の国宝のひとつ。

国宝 深鉢形土器(火焔型土器) 新潟県笹山遺跡出土 十日町市(十日町市博物館保管) [I・II期] 撮影:小川忠博

六道と地獄

平安時代の終活!?

飢えほどつらいものはない

つねに飢餓の苦しみに苛まれる餓鬼。もはや人間の糞尿しか食べるものがない。彼らの姿は、醜いだけでなく滑稽ですらあります。



国宝 餓鬼草紙(部分) 東京国立博物館 [II期]

書跡

筆跡に宿る、先人たちの「魂」

若き空海が遺した天才の筆跡

空海の遺墨は、入唐中あるいは帰朝後のものが多く知られますが、この一巻はそれ以前の筆跡です。若かりし空海の思



国宝 曼曼指帰(上巻・部分) 空海(弘法大師)筆 和歌山・金剛峯寺 [II期]

中世絵画

雪舟の国宝すべてが一室に。奇跡的空間は3週間限定!

山水絵巻に酔う

全長15メートルを超える長大な山水図巻。四季の移ろいを楽しみながら絶景を眺めるのは、まさに至福の時といえましょう。話題を集めた「雪舟展」以来、当館では15年ぶりの展示となります。



中国絵画

雪舟や等伯も憧れた至高の絵画

日本に伝来した、中国絵画の最高峰

慈悲深い白衣観音をはさんで、子を探す鶴に子を抱く狼も母性愛に溢れています。筆者の牧谿は中国・南宋時代の画僧。本国では忘れ去られた存在でしたが、織田信長や長谷川等伯らにも大きな影響を与えました。



国宝 観音猿鶴図 牧谿筆 京都・大徳寺 [III期]

絵巻物

時空を超えた冒険へ

100年以上の時を経て、 京都に里帰り！

大正時代のはじめまでは京都・西本願寺に所蔵されていましたが、西本願寺から出て以降、京都の地に居ることはありませんでした。このたび100年以上の時を経て、はじめての里帰りが実現します。さらに、18世紀の京都が生み出した、「燕子花図屏風・円山応挙、雪松図屏風」と謝蕪村「夜色櫻台図」の珠玉の3個室の揃い踏みも必見です。

国宝 燕子花図屏風(右隻)
尾形光琳筆
東京・根津美術館[Ⅳ期]



染織

はかなきものに託した祈り
亡き太子を偲ぶ、
妻の祈り

仏国土・天寿国に往生したという聖徳太子の姿を偲んで、妃・橘大郎女が作らせた帳。仏の教えに出会ったばかりの人々が、ひと針ひと針めいあらわした世界は、断片と化してはいくもの、太子への想いと浄土への憧れを力強く訴えかけてきます。



国宝 天寿国輪帳(部分) 奈良・中宮寺[10月3日~22日]
奈良・奈良国立博物館(撮影・藤村敬司)

彫刻

仏像といえは、
なんといつても関西

一番新しい国宝です
国宝は毎年少しずつその数を増やしています。本像は不動明王坐像・隆三世明王坐像とあわせて、今年あらたに国宝に指定されました。巨大な仏像を破綻なく仕上げた仏師の手腕もみどころです。



国宝 大日如来坐像 大阪・金剛寺[通期]



国宝 梅崎繪手箱
静岡・三嶋大社(ⅡⅢⅣ期)

漆工

漆の部屋は発見がいっぱい！

頼朝・政子、夫婦の絆？

流入であった源頼朝と恋に落ち、親の反対を押し切って結ばれた北条政子。愛する夫や子どもたちのためにしばしば神に祈りました。本展では、政子奉納と伝わるこの手箱と頼朝奉納と伝わる薩摩螺鈿時絵視箱(神奈川・鶴岡八幡宮)、夫婦の願いが込められた神宝が、800年の時を超えて隣り合わせに並びます。



陶磁

京都で花開く桃山文化

茶の湯の名碗

迷いのない鋳削りや歪ませた器形、そして胴に施された鉄絵具による垣根の文様と志野釉の色彩と景色。どれをとっても、「桃山」という、政治、文化が激しく変革する時代性を凝縮した茶碗です。

展覧会テーマソング

「嗚呼」は、谷村新司さん！



谷村さんが「国宝」展フラッグアーティストとして故・三木たかしさんの未発表曲に作詞をし歌唱するという奇跡的なコラボレーションが実現しました。



音声ガイドナビゲーターは、竹下景子さん！

解説時間：約30分
貸出料金：500円(税込)
京都国立博物館・文化大使の竹下さんが、ひとつひとつの国宝に刻まれた歴史と美の物語を語ります。

観覧料(税込)	
一般	1,500円 (1,300円)
大学生	1,200円 (1,000円)
高校生	900円 (700円)

※()内は、前売り・20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料となります(要証明) ※キャンパスメンバーズは、学生証をご提示いただく団体料金になります ※前売券の販売期間は、7月7日(金)~10月2日(月)
主なチケットの販売所 オンラインチケット(公式サイト)、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード:768-277)、ローソンチケット(Lコード:52690)、CNプレイガイド、イープラス、JTB各店舗、近鉄の主な営業所、ほか主要プレイガイドとコンビニエンスストア ※チケットの購入時に手数料がかかる場合があります。



●JR・近鉄：京都駅下車、駅前バスD2のりばから206-208号、D1のりばから100号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ ●京阪電車：七条駅下車、東へ徒歩7分 ●阪急電車：河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面にて七条駅下車、東へ徒歩7分 または、河原町駅下車、四条河原町から207号系統にて東山七条下車、徒歩3分 ●市バス：博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ / または東山七条下車、徒歩3分 ※こま館はなるべく公共交通機関をご利用ください ※駐車場は有料となっております

京都国立博物館
平成知新館【東山七条】
KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
電話075-525-2473(テレホンサービス)
http://www.kyohaku.go.jp/

[表面] (左上から時計回りに) 雲中供養菩薩像 京都・平等院[通期]、風神雷神図屏風(部分) 伏見宗達筆 京都・建仁寺[Ⅰ・Ⅱ期]、時雨鐘細鞍 東京・永青文庫[Ⅰ・Ⅱ期]、土偶(縄文の女神) 山形県西ノ前遺跡出土 山形県(山形県立博物館保管) [Ⅰ・Ⅱ期]、金印 福岡市東区志賀島出土 福岡市博物館[Ⅲ期]、青磁鳳凰耳花入 銘 万声 大阪・和泉市久保記念美術館[Ⅰ・Ⅱ期]、伝源頼朝像(部分) 京都・神護寺[Ⅲ・Ⅳ期] ※以上すべて国宝